ROTARY CLUB OF HEKINAN WEEKLY

碧南ロータリークラブ週報

第２６０８回例会 平成２４年９月１２日

●会長 黒田 昌司
●幹事 木村 徳雄
●会場監督(SAA) 新美 雅浩

■例会日　毎週水曜日　12:30　■例会場　碧南商工会議所ホール
■事務局　碧南商工会議所内　〒447-8501　愛知県碧南市源氏神明町 90
TEL<0566>41-1100　FAX<0566>48-1100
ホームページ：http://www.hekinan-rc.jp
E-mail:info@hekinan-rc.jp
■会報委員　菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴

2012-2013 年度　国際ロータリーのテーマ

●斉　唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

●本日のメニュー

ちらし弁当　大正館

●本日のお客様

第２７６０地区 ガバナー　千田　毅様
第２７６０地区 地区幹事　柳澤幸輝様
高浜ＲＣ青少年交換学生　タラマ・エリザベス・クラッドドック様

歓迎の辞　及び　会長挨拶

黒田昌司会長

本日は千田ガバナーをお迎えいたしまして、高浜と碧南の合同例会です。

今日は嘘と本当ということで、お話をしてみたいと思います。

昨日、国が尖閣諸島を買い上げるということで、中国が非常にプレッシャーをかけてきました。韓国・中国と非常に緊張感が高まってきていると思います。この背景にあるのは何でしょうか。

サミュエル・バトラーというイギリスの作家の言葉です。「神でも過去を変えることは出来ないが、歴史家ならできる。」現在、韓国・中国含めて、歴史の認識の問題が、領土に関係する問題になっています。神でも変えることが出来ない過去を、韓国・中国の歴史家は平然と変えてしまった、こんなことが許されるのかと考えますが、日本の歴史家は反日本の方々が多いといいますので、今後、日本の歴史をどういうふうに正していくかが非常に大きな問題になるのだと思います。

もうひとり、シェークスピアの言葉です。「人死して後、善事は葬り去られるが、悪事は後々まで残る。」これは戦争被害を受けた、韓国人や中国人が、日本人のことをけちょんけちょんに言っていますが、果たして本当に悪いことばかりだったのかということを、韓国・中国の方々

にもう一度考えていただきたいと思います。

また、世界的な正直者は誰だ、といいますと、アメリカの初代大統領、ジョージ・ワシントンです。お父さんが家に帰ってくると、桜の木が倒れていました。「この桜を切ったのは誰だ？」と聞くと「はい、私です。」と正直に言って褒められた、というのが伝わっています。しかし、この話が出てきたのはどこからかというと、１８００年に牧師が書いた『逸話で綴るワシントンの生涯』という本の、第５版から急遽この桜の話が出てきました。２００７年にこの話が本当か調べたところ、真っ赤な嘘でした。

ひとりや二人が嘘を言うと、周りの人は信じませんが、例えば国全体のような大勢の人が嘘を言うと、本当になってきます。我々日本人として、嘘は嘘、本当は本当と諸外国に向けて、もっと声を上げていかないといけないと考えます。

本日はガバナーをお迎えいたしまして、平身低頭して頭を下げながらお聞きしたいと思います。ぜひ、皆さん本日は宜しくお願い致します。

青少年交換学生ショートスピーチ

タマラ・エリザベス・クラッドドック様

私はアメリカのルイジアナ州のラファイエットという町で生まれました。１６歳です。

初めて日本に来て驚いたことがあります。それは駐車場の車が全てきれいに磨かれていたことです。

この１年で、私は日本語や日本の文化について一生懸命勉強しました。宜しくお願いします。ありがとうございました。

委　員　会　報　告

＜出席奨励委員会＞

総会員数 69 名（内出席免除者 13 名の内出席者 9 名)出席者 59 名	
出席対象者　59／64 名	出　席　率　　92.19%
欠席者 10 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率　98.48%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

＜ニコボックス委員会＞

第２７６０地区ガバナー千田　毅様、地区幹事柳澤幸輝様よりたくさん頂きました。

黒田　昌司君
木村　徳雄君　本日２７６０地区千田ガバナー並びに地区幹事に出席して頂き、碧南・高浜合同例会を開催しますので、宜しくお願いします。

清澤　聡之君　先日、平松　太さんに大変お世話になりました。

菅原　　優君　　先日、４人目の孫が無事生まれました。

鈴木　泰博君　　先日、新会員研修セミナーに参加しました。大変勉強になり有意義な時間を過ごすことができました。

卓　　話

国際ロータリー第２７６０地区　千田毅ガバナー

千田毅ガバナー

まずもって、本日皆様の前でガバナー講和をさせていただける事に貴クラブ及び国際ロータリーに感謝申し上げます。本年２月にアメリカサンディエゴにて国際協議会に出席してまいりました。その状況をＤＶＤにまとめてまいりましたのでしばらくご覧ください。

ガバナーの責務の一つはＲＩ会長のテーマと運営方針を忠実に皆様にお伝えすることであります。本年度ＲＩ会長は日本人として３人目になる田中作次さんであります。彼は東北の貧しい村で貧しい家庭の８人兄弟の４番目として生まれて、幼いころには母親と月一度、２０キロ離れた市場に野菜を売りに行っていたそうです。それが彼にとっては唯一の楽しみであり、外界と触れる唯一の機会だったとお話になりました。そんな生い立ちからいつかは世界のいろいろなところに行ってみたい、そして大勢の人と語り合いたい、それが田中少年の夢だったそうです。

さて、本年度ＲＩテーマは“Peace Through Service”「奉仕を通じて平和を」であります。会長の言う平和とは、戦争と対局にある平和ではなく、あなたの心の中にある平和であります。

次にＲＩ会長強調事項についてであります。会長は「ロータリー・クラブと地区による平和活動」として、５つ挙げられておりますが、ここでは、１．クラブや地区の平和フォーラムを開催する。２．地域平和フォーラムを開催する。にしぼってお話します。１．について、各クラブで行っていただきたい、また地区については、各分区のＩＭや、地区大会などにおいて平和についてのフォーラムを開いていただきたい。次に、２．については、明年５月に広島で開催される「平和はあなたから始まる」への賛同と協力をお願いしたい。

次に地区スローガン及び重点項目についてお話いたします。

地区スローガンは“Touch the Rotary”　～ふれあい、思いやり、そして握手～　であります。どうか皆様、ロータリーに、クラブに愛着を持っていただきたい、そして友人、知人、家族に思いやりをもって、接して下さい。重点項目として次の４項目を挙げました。

１．会員増強　これ、なくしてはロータリー組織の維持、発展にはなりません、会員一人一人が何としても今一度、会員増強に対しご努力をお願いしたい。

２．東日本大震災　被災高校生支援　皆様方は既にいろいろな形で支援活動されてきたと思いますが、ぜひこのプロジェクトに賛同、参加していただきたい。

３．地区内交流の活性化　この２７６０地区は８分区８２クラブあります。それぞれに特色

があり、地域によってもいろいろなクラブがあります。この機会に、普段メーキャップに訪れることもない、クラブに行ってみて下さい。きっと新しい発見と新しい出会いが生まれると思います。

４．オン　ツーリスボン　本年度の世界大会は、田中作次ＲＩ会長のもと、来年６月２２日よりポルトガルの首都リスボンで開催されます。当２７６０地区では、リスボンで６月２２日にガバナーナイト開催する予定をしております。ぜひとも、みなさんのご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、今後皆様のクラブがますます発展し、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、本日のガバナー講話を終わらせていただきます。

謝　　辞

高浜ロータリークラブ　浅岡憲隆会長

浅岡憲隆会長

千田ガバナー、柳澤地区幹事、本日は長時間にわたりまして御指導誠にありがとうございました。田中ＲＩ会長、千田ガバナー方針の実現に向けまして、クラブ運営を展開して参りたいと思います。

公式訪問も、暑さの疲れが出てくる頃でございます。どうか、お体をご自愛いただきまして、１年間のご指導を重ねてお願い申し上げまして、本日の御礼とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

次回例会案内　平成 24 年 9 月 26 日（水）

卓話

「碧南市藤井達吉現代美術館の活動状況と果たすべき役割について」

碧南市藤井達吉現代美術館　副館長　岡崎康浩氏